

令和7年7月14日
九州学生映画祭実行委員会
代表：園川凌真
Mail : sales@ksff.jp
担当：渉外部

第2回九州学生映画祭 企画書

■概要

九州学生映画祭は、九州で映画製作に取り組む学生たちが一堂に会し、自主製作映画を上映する映画祭です。

コロナ禍の影響により、多くの歴史ある映画製作サークルが活動停止や技術継承の断絶に直面する中、学生間の交流促進による技術向上と学生映画の振興を目指し、昨年、熊本大学映画研究部が中心となり立ち上げられました。

第1回の成功を受け、今年は第2回九州学生映画祭を開催します。会場には、熊本を代表する老舗シアターである Denkikan 様を貸し切り、各大学の作品を上映。映画監督らを招いたトークショーも実施予定です。映画祭の運営資金は、地域企業からの協賛やクラウドファンディングにより調達します。

■目的

本映画祭では、「学生映画を軸にした交流と継承を通じて、九州の可能性を未来へと繋ぐこと」を目的としています。具体的には、以下の4点を目的として掲げます。

1. 学生映画の発信

九州で映画制作に取り組む学生たちの作品を広く発信し、その魅力を地域社会に届けます。

2. 学生同士の交流と技術向上

作品上映やトークセッション、意見交換の場を設けることで、学生同士が切磋琢磨し、技術力を高め合うことを目指します。

3. 次世代の育成

高校生を映画祭へ招待し、学生映画に触れる機会を提供することで、映画制作に関心を持つ若者の裾野を広げます。

4. 九州の可能性の発信

学生ならではの独創的な表現力や企画力を通じて、九州の学生が持つ多様な可能性を社会に示します。さらに、本映画祭に携わるすべての参加者が自らの可能性を見出し、それを表現できる場を提供します。

■日時・場所

場所: Denkikan (電気館ビル)

日時: 9/15(月 祝) 18:00-21:00

住所: 〒860-0803 熊本県熊本市中央区新市街 8-2

■参加団体

昨年度出展した以下の 5 団体に加え、新たに 1 団体参加いたします。

昨年参加大学:

- 映画研究部 (九州産業大学短期造形大学部)
- 映画研究部 Social Network (九州大学)
- 映画研究部撮影班 Qbrick (熊本大学)
- デジタルコンテンツサークル ボイ撮り (佐賀大学)
- 映画研究会 SeaCaT (長崎県立大学)
- 映像制作集団ロマンダム (北九州市立大学)

■作品規定

以下の内容を満たす作品を本映画祭への応募対象といたします。

- ・学生サークルを主体として制作された作品であること。
- ・作品の上映時間は 10 分以上 60 分以内とすること。
- ・高校生を含む全年齢層が鑑賞可能な内容であること。
- ・他映画祭への出品歴や、YouTube 等のインターネット上の公開有無は問いません。
- ・作品の内容やジャンルは問いません。ただし、以下に該当する作品については、応募を受け付けない場合があります。
 1. 政治的・宗教的活動を目的とした作品
 2. 特定の個人または団体の名誉を著しく毀損する内容を含む作品
 3. 著作権上の問題が指摘されている、またはそのおそれがある作品
- 4. その他、本映画祭実行委員会が正当な理由により上映にふさわしくないと判断した作品

また、作品に既存の著作物（原作、音楽、映像、キャラクター、小説、漫画、シナリオ等）を使用する場合は、必ず権利者の許諾を得てください。使用許諾・使用料等、著作権に関わる一切の手続きは、応募者の責任において完了している必要があります。

■運営団体

主催：九州学生映画祭実行委員会

後援：熊本大学映画研究部撮影班 Qbrick

運営の中心となる実行委員会が、イベント全体の進行・調整を担当します。

■今後の展望

九州学生映画祭が、九州一丸となって学生映画を盛り上げ、次世代の映画監督を育む場となることを目指し、半永久的に継続的な開催を実現したいと考えています。

地域の文化の発展に貢献できるよう、今後も学生映画振興に取り組んでまいります。

■昨年度の反響

第1回九州学生映画祭では、来場者の97%が「満足」、93%が「次回も来場したい」と回答し、学生映画への高い評価と継続開催への期待が示されました。世代を超えた多様な来場者が集い、地域との文化的なつながりも深まりました。加えて、地元のテレビ局2社・新聞社3社にも取り上げられ、大きな反響を呼びました。作品や企画への共感の声も多く寄せられ、映画文化の継承と発展に資する取り組みとして高く評価されています。



記念撮影写真



トークショーの様子



熊本日日新聞取材記事

■結び

第2回九州学生映画祭では、昨年の経験を活かし、更なる広報活動の強化と参加者の交流を促進し、より多くの人々に学生映画の魅力を伝えていきます。ご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。